



👂 耳でも聞ける



# 議会だより

## 2024 No.211

令和6年10月23日発行  
岩手県紫波町議会

# しわ

### 主な内容

令和5年度決算

しわ家の家計 2

一般質問

川議員が町政を問う 12

シリーズ vol.2

議会の見える化 22



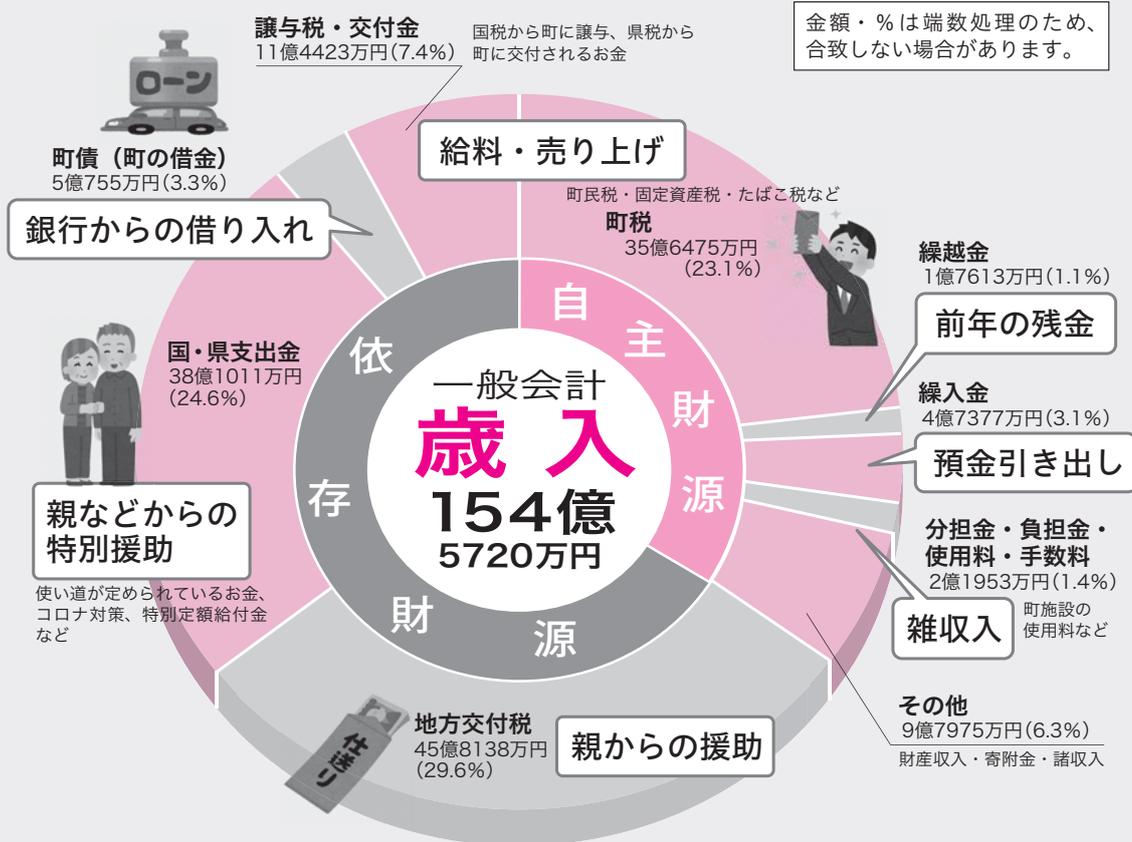
# は、こうだった!!

定例会  
9月会議

8/30~9/19

項目に当てはめて表現してみました。

## 収入の内訳



提案された令和5年度決算認定・条例案件・予算案件・報告案件・人事案件など21件と議員の提出した発議案3件を合わせた24件について審議した結果、全て原案のとおり可決しました。

一般質問は、11議員が、農業、駅トイレ閉鎖、埋蔵文化財、防災、給食費無償化、犯罪被害者等支援、観光振興、民間提案制度など町の見解をただしました。

### 決算の特徴

令和5年度一般会計歳入決算総額は、154億5720万円で前年比3億5910万円の減少。歳出決算総額は、151億2572万円で前年度比5億1449万円の減少となっています。歳入決算総額から歳出決算総額を引いた実質収支は1億3048万円の黒字ですが、実質単年度収支は8981万円の赤字となりました。

歳入の町税や固定資産税は、前年度比で5557万円の増ですが、町税の収入未済額の増加や不能欠損も増加しており、町民の生活の厳しさがうかがえます。

歳出の減少は、新型コロナウイルス対応事業の減、雪が少なく除雪委託費の減が挙げられます。公民連携の新しい事業の調査費などもあり、これから続く事業に議会として注視していきます。

### 令和5年度の決算状況

会計区分	一般会計	特別会計				下水道事業会計	
		国民健康保険	後期高齢者	介護保険	介護予防サービス	収益的収支	資本的収支
歳入	154億5720万円	31億9131万円	3億6637万円	36億3525万円	850万円	12億9537万円	1億4630万円
歳出	151億2572万円	31億3497万円	3億6470万円	34億9354万円	737万円	12億8323万円	7億4884万円
収入未済額	1億1760万円	7299万円	△6万円	227万円	0円	4416万円	22万円
採決の結果	賛成多数	全員賛成					

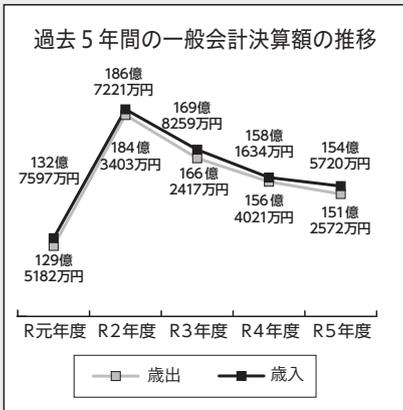
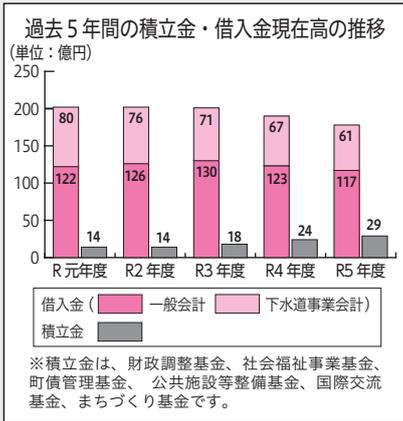
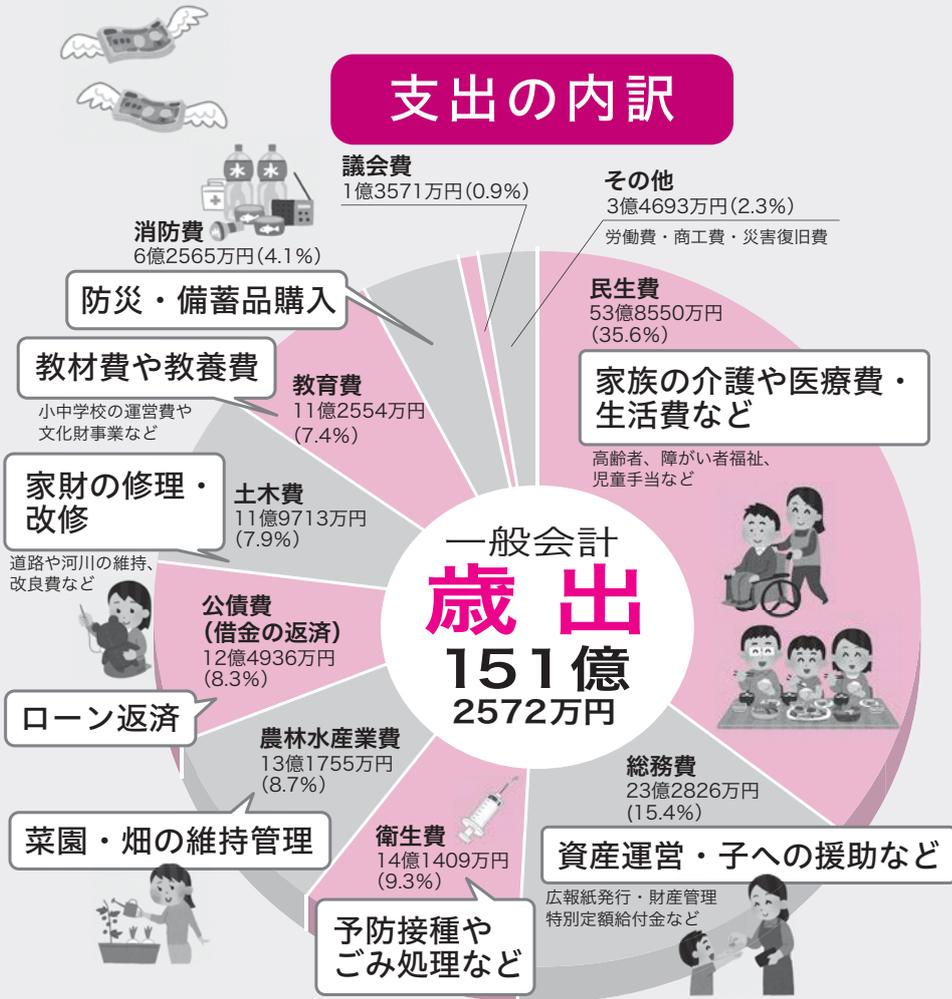


# 令和5年度 決算

# しわ家の家計

令和5年度の決算状況を家計の

## 支出の内訳



令和5年度の財政運営は、目前に迫った新規事業などの財源確保に翻弄された1年と言える。今後、新規事業の要請に向き合っていくためには5年以上にわたる厳しい財政運営を覚悟すること。全庁あげて真正面から知恵を絞ることが必要である。

改善を要すると思われる事項として、300を超える補助金は本当に必要か、時期を失することなく総点検すべきである。

令和5年度の町政はコロナの5類移行で幕を上げたと言っても過言ではない。個別事業の小さなお金の流れを大切に始めて、骨太のプロジェクトに挑戦できるのではないだろうか。

## 監査意見



熊谷代表監査委員

監査委員 熊谷 順太  
箱崎 勝之



# 有効に使えたか!?

予算決算常任委員会で審査を行い、本会議で意見を付して可決しました。

## 農業次世代人材交付金

**問** 新規就農者への補助金として国からもらう交付金だが、新規に果樹などを栽培する場合は収益が出るまでに3年はかかる。町からの補助金は無くても生活できるのか。

**答** 町では新規就農者に対して、農協などと連携して支援を行っている。単価の高い農作物の情報を提供したり、貸したいという果樹園をマッチングさせるなど、できるだけ早く安定した農業経営に移行させるよう支援を続けていきたい。

## 紫波型断熱改修事業

**問** 普及促進、改修メニュー開発、断熱改修にかかる人材育成という事業内容の中で、令和5年度事業では断熱改修シンポジウムの開催、断熱改修体験型作業ワークショップの開催とある。どのように展開しているか。

**答** シンポジウムは2回開催し、快適で健康的な住宅環境を構築するために、補助金制度や地域脱炭素化に

関する国内外の状況など、住民向けと事業者向けの両面で講演を行った。ワークショップでは、木製内窓の設置を希望する住宅の公募を行い、応募された一般住宅を対象に事業者の参加を募り、DIYで行うなどした。

## 地域合意形成向上業務

**問** 日詰、古館、赤石でそれぞれ話し合いが行われたがどのようなものだったか、どのような結論となったのか。

**答** 地域づくりの人材育成や、住民同士がお互いを知り、地域の状況を知ってもらう場作りとして行った。意見交換会、地域づくり活動の勉強会、ファシリテーター養成講座などを、各公民館と協力して開催した。住民主体の地域づくりに向けて進めていきたい。



地域づくり活動の勉強会

## 自主防災

**問** 自主防災組織の活動に地域差がある。防災士の資格者が増えているが、地域の訓練や研修などに派遣要請はあったか。

**答** 要請はあり、職員や県の防災サポーター制度を利用し派遣している。協議会活動などをしてほしいという声もあったため、防災士が活動できるように支援していきたい。

## 紫波町交流公園

### 樹木樹勢回復事業

**問** 景観維持は必要と考えるが、どの程度緊急性があったか。また、定期的に発生する費用か。

**答** 環境や景観に相応しい樹木を選定しているが、約10年が経過し、交流公園（オガール広場）の設計者から樹木の状態が良くないとの指摘があった。気候の変化などで弱ったため、今回は専門家に指示を仰ぎ施肥や環境整備を行った。

# 令和5年度決算



# 限りある財源を

一般会計・特別会計・下水道会計の令和5年度決算について、

## 空家対策応急措置

**問** 空家の応急処置を行ったのは、  
どういう状況か。

**答** 隣家に影響があるため、所有者の許可を得て、飛散防止や柱の傾きを支柱で支えるなどした。費用は所有者に請求している。

**意見** 空き家対策は、所有者に適正管理を促し、関係機関と連携をすすめる、相談窓口の充実に努められたい。あわせて、解体補助金を新設されたい。

## ファミリー・サポート・センター事業

**問** 会員数、利用実績も増加しているか。利用者の満足度など捉えているか。

**答** 利用者と援助会員にアンケートを取った。臨機応変に対応してくれて助かったなど、満足度は高い。ファミリー・サポート・センターが認知度を高め、会員を増やす取り組みをしている。

**意見** 町として同センター事業の認知度を高め、協力を増やす取り組みに努められたい。

## スクールヘルパー配置

**問** 実体を把握して各校に設置すべきではないか。

**答** スクールヘルパーは小学校に12人、各中学校に1人ずつ、限られた予算の中で配置している。スクールヘルパーのスキルアップを図っていく。

**意見** 教育上、特別な配慮を要する児童生徒のために、スクールヘルパー、教育相談支援員の増員に努められたい。

## 給食材料費

**問** 地場産の購入金額が減っているのはなぜか。地場産を増やす取り組みは。

**答** 生産組合が出荷できなくなり、地場産の物が手に入らなくなった。関係課や給食組合、農林公社と連携し、新たにネギの生産農家を確保した。



### 認定第1号 令和5年度紫波町一般会計歳入歳出決算認定

討論

反対

及川ひとみ 議員

ここ何年かの町の予算方針は、財政状況は一層厳しくなると見込まれている。あつまねエリアブランディングや地域活性化企業人制度の活用は成果が出るものなのか。国の交付金を活用して民間企業が提案している。町民の要望や考えを取り入れるものになっているか。また、将来の世代に負担の心配がある。厳しい財政の中で町民の福祉向上に努め、事業と歳出について緊張感を持ち、行財政運営を見直すことを求め反対とする。

#### 本会議で賛否が分かれた議案

	吉田和希	村上みさと	鈴木博	佐藤光夫	橋浦栄一	高橋敬子	浅沼有朋	北條聡	阿部秀一	佐々木純子	阿部美佳子	熊谷育子	細川久	及川ひとみ	細川恵一	藤原恵子	根水康博	武田平八	賛成	反対	結果
令和5年度紫波町一般会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	14	3	可決

※賛成は○、反対は×、議長(武田平八)は採決に加わりません。



# 町へひとこと



9月19日に事業評価報告書を熊谷町長へ手渡しました

評価区分



## 拡充

### 地域包括支援センターの運営



「こつこつサーキットクラブ」で介護予防

- 評価** 町民主体の集いの場の設置数は目標値を上回ったが、介護予防事業の延べ参加者、認知症サポーター養成講座の年間受講者数は目標値に届いていない。
- 意見** 高齢化率の上昇（特に75歳以上の後期高齢者の増加）の予測を踏まえ、介護予防事業によるサポート、認知症への理解を深める必要がある。
- 提言** 高齢者のニーズや生活実態を把握し、要介護状態にならないよう、社会参加ができる多様な仕組み、医療介護連携、多職種連携などの体制整備に努められたい。

## 継続

### 雨水処理施設整備事業



下川原ポンプ場

- 評価** 宅地造成の増加により雨水処理の重要性が増す中、浸水シミュレーションの実施、マンホール蓋更新工事により浸水被害対策が進められた。
- 意見** 浸水シミュレーションを熟考し設備更新など有効手法を検討されたい。  
内水氾濫に起因する被害を減少できるよう既存施設の有効活用を進められたい。
- 提言** 日誌1-2排水区の浸水対策の予算化を図られたい。  
財源を確保し、施設の耐水化・改修事業を計画的に進められたい。

## 拡充

### 酒類販路拡大プログラム業務



おいしい紫波のお酒

- 評価** 酒類の海外への販路拡大を目的とし、酒造会社1社で製造された日本酒をロンドンでサンプリングなどが行われ、酒造会社が輸出手続きや、梱包など経験することができた。
- 意見** 産業政策監の専門性を生かし、輸出コスト削減や、日本酒以外の地場産品の輸出に向けた相談対応など課題解決に取り組まれたい。
- 提言** 「酒の町紫波推進委員会」とコミュニケーションを密にし、情報提供や研修会、イベントの後援など最適な支援に努められたい。



# 令和5年度 事業評価

# 議会から

## 事業評価とは

議会基本条例により、決算の審議を通じて町長が執行した施策や事業の評価を行います。町長に対して、その評価を翌年度以降の予算に反映させるよう求めるものです。

改善  
効率化

## 地域おこし協力隊支援事業



地域活性化に一役

**評 価** 現在までの隊員数は延べ14人となり、定着率は8割で、起業、就労し町内に定住している。地域資源を活用したイベントなどにより交流人口の増加や地域活性化に繋がった点は評価できる。一方、東西部の人口減少に対する課題解決については隊員全体から見えづらい。

**意 見** 地域おこし協力隊の募集は自らの可能性にチャレンジする人を応援するフリーテーマ型が主流で、町が「地域おこし協力隊」に何を求めているかがわかりにくい。募集の際、テーマを明確にすべきではないか。隊員が町内の同世代と交流を持つ機会を設けることで、地元の若者が町の魅力や地域資源を再認識し、地域づくりへ参加することによって転出の抑制や将来の移住定住に繋がるのではないか。

**提 言** 人口減少が進行する町において、都市部の人材を積極的に受け入れ、地域の課題解決および活性化に努められたい。

拡充

## 学校運営協議会(コミュニティスクール)



コミュニティスクールの1コマ

**評 価** 2年目を迎え活動がスムーズになり、地域学習の取り組みができたことで地域と児童の交流が図られた。

CSコーディネーター<sup>※</sup>の活動範囲が広いのではないかと。

※CSコーディネーター…地域学校協働活動推進員

**意 見** 「紫波のCS」を発行しているが「熟議」<sup>※</sup>の内容や協議結果など、取り組みがわかりにくい。保護者や地域への情報発信、周知の更なる取り組みが必要。

学校運営協議会委員は地域の声を収集し、熟議に生かしてほしい。

※熟議…学校と地域住民が課題解決に向けて熟慮と議論を行うこと。

**提 言** 学校運営協議会活動の「見える化」に努められたい。

小中連携は、児童生徒の意見を聞くなど、児童生徒・教職員の負担軽減への配慮を。

CSコーディネーターを増員し、中学校区に配置されたい。

## 補正予算

ピックアップ

## エネルギーステーション

## 議員間討議し附帯意見！ 第三セクターへ

令和6年度一般会計補正予算(第4号) 議案第49号

- 歳入歳出それぞれ7億7071万円を追加し、総額164億5485万円とするもの。

## 地域熱供給事業について

庁舎や施設、個別住宅の契約によりエネルギーステーションの熱供給が行われています。事業者である紫波グリーンエネルギー(株)から、町へ事業継承の申し入れがありました。町は、専門の調査を行い建物の価格と新会社設立の出資金が提示されたものです。民間事業者から第三セクターに事業が移行することに対して審議に時間をかけました。

歳出 ・エネルギーステーション購入費(建物) **4290万円**  
・熱供給事業運営会社出資金 **8800万円**

## 質疑

**問** 事業継承に至らないよう町の責務として、紫波グリーンエネルギー(株)に関わってきたか。

**答** 年1回事業報告を受けていた。

**問** 出資金の金額の根拠は。

**答** 新会社に1億5000万円の負債を継承するので、出資金で安定させたい。

**問** 契約が終わる30年後にどうするか。

**答** 当初から供給協定は30年間になっている。更新時に町か事業者が運営を行うかは20年後の判断になる。

## 議員間討議

執行者は退席し議員間で個々の考えを発言、議論をつくり共有を図りました。

(抜粋)

- ・第三セクターになるが、うまくいかなければ町が負担していくことになるのが心配。
- ・エネルギーの利用者がいるので止めるわけにはいかないが、第三セクターとなるため、議会の監視を強めていかなければならない。
- ・長期の契約は、時代の変化もあり永遠ではない。議会が常に監視し、監査機能を果たしていく必要がある。

## 採決 意見を付して全会一致で可決

## 地域熱供給事業への附帯意見

地域熱供給事業に対する町の責務は、事業が適正に実施されているか確認するための情報収集、協定書に基づく提出書類についての確認及び必要に応じた指導、本事業を安定的に継続するための支援をすることであった。町の責任について検証するべきである。

今後、町が出資する新会社で熱供給事業を運営していくことになるが、町の負担が増すことがないように事業の将来を見据えた計画づくり、監視体制および不測の事態も考えて取り組まれない。



# 財産の取得

4290万円

エネルギー  
ステーションの建物の  
の買い入れ

財産(建物)の取得に関し議決を求めるもの 議案第53号

エネルギーステーション事業を継承するため、建物を買い入れしようとするものです。

**問** 第三セクターになるにあたり、町の責務をどう考えているか。

**答** 町が出資を9割するものであり、町の関与を深めていく。



オガールエリア内の熱供給を行う  
エネルギーステーション(中央)

## 議会の意志を示す 発議案

**発議案とは?** 議会の会議において、議員が提出する議案で、条例案や意見書案、決議案などがあります。

発議案 第7号 令和6年9月19日

# 公民連携事業を調査し説明責任を果たす! 可決

## 公民連携に関する調査特別委員会の設置に関する決議

公民連携について理解を深めるとともに、公民連携事業に関する調査・研究を行う。

特別委員会委員長 … 根水 康博 議員

副委員長 … 細川 恵一 議員・阿部 美佳子 議員

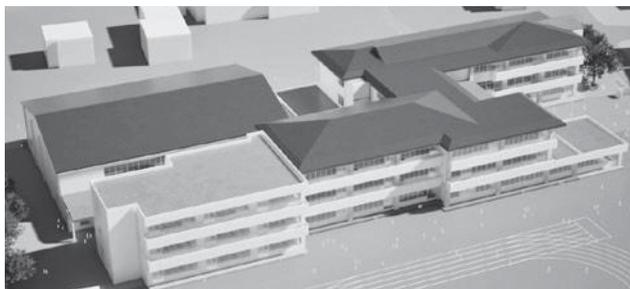
## 契約の締結 赤石小学校増築 令和8年4月供用開始

議案第52号 紫波町立赤石小学校校舎増築業務の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

- 1 業務名 紫波町立赤石小学校校舎増築業務
- 2 場所 紫波町南日詰字箱清水地内
- 3 契約金額 7億386万8千円
- 4 請負者 橋建設(株)・(株)トミオカ特定建設工事共同企業体  
代表者 橋建設株式会社 代表取締役 橋 伸也  
構成員 株式会社トミオカ 代表取締役 富岡 靖博

**問** 分離発注方式ではなく、公募型プロポーザル<sup>※</sup>での契約にした理由と効果は。

**答** 分離発注方式の場合、入札不調による工期の遅れや、設備機器の納入に遅れが生じる恐れがある。また、一体的なコスト縮減につながらないと捉える。公募型プロポーザルは、紫波東こどもの家整備事業において、コスト縮減につながった実績がある。



校舎イメージ図

※公募型プロポーザル=民間の専門的な知識や技術、実績を生かした提案を総合的に評価して契約締結交渉者を選定する方式。



# みなさんからの 請願 はこうなりました

9月会議までに受理した請願結果をお知らせします。

請願件名	請願者	紹介議員	付託委員会	委員会結果	議決結果
安全・安心の医療・介護実現のため 人員増と処遇改善を求める請願書	岩手県医療労働 組合連合会	細川 恵一 鈴木 博	すこやか 町づくり	採択すべき もの	可決
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育 費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための 2025年度政府予算に係る意見書採択を求める請願	岩手県教職員組合 岩手盛岡支部	熊谷 育子	すこやか 町づくり	採択すべき もの	可決



## 請願を採択し発議案として国へ意見

### 発議案 第5号

令和6年9月19日

## 医師・看護師・介護職員等の賃上げ、増員、労働環境改善を!



### 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書

自然災害時の対応や新たな感染症に備えるためにも、平常時から必要な人員体制の確保を国の責任で行い、安全・安心の医療・介護の実現を強く求める。

### 発議案 第6号

令和6年9月19日

## 学校の働き方改革、慢性的な教員不足解消を求める!



### ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための2025年度政府予算に係る意見書

子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、国の施策として定数改善に向けた財源を保障すべき。国会および政府は、地方教育行政の実情を十分に認識し、措置を講じるよう強く要請する。

### 議案第45号 紫波町公正な職務の執行の確保に関する条例

職員の法令順守と社会生活の中で求められる規範に基づき行動することを「職員コンプライアンス」とし、必要な事項を定める。町民、事業者などは町の公益を確保していくためのパートナーであることから、町民および事業者などが守るべき責務を定めるもの。

討 論	及川ひとみ 議員
	目的に、公正な職務の執行と職場環境を確保することで公益の増進に資するとあり、職員側の方に重きを置いた条例になっている。町民の負託に応え、信頼される町政を確立する方を先にすべきである。公益通報について、調査委員会に第三者が入っていないこと、通報者保護の取り扱いなどが不十分であり、再考察が必要なため反対する。

### 賛否が分かれた議案

	吉田和希	村上みさと	鈴木博	佐藤光夫	橋浦栄一	高橋敬子	浅沼有朋	北條聡	阿部秀一	佐々木純子	阿部美佳子	熊谷育子	細川久	及川ひとみ	細川恵一	藤原恵子	根水康博	武田平八	賛成	反対	結果
紫波町公正な職務の執行の確保に関する条例	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	13	4	可決

※賛成は○、反対は×、議長(武田平八)は採決に加わりません。



人権擁護委員

渡辺嘉明さんを適任と決定

わたなべよしあき  
法務大臣が委嘱する人権擁護委員の候補者の推薦について、渡辺嘉明さん(志和)を適任と決定しました。任期は令和7年1月1日から3年間です。

人権擁護委員は法務局職員とともに、人権侵害事件の調査処理、人権相談、人権啓発活動などを行います。

教育委員

川村政子さんが選任

かわむらまさこ  
任期が満了することに伴い、教育委員に川村政子さん(彦部)を任命することに同意しました。

任期は、令和6年10月1日から4年間です。

町長から辞令を受け、教育行政の運営などに携わります。

令和6年9月会議提出議案等…21件

報告3件、認定6件、条例3件、契約1件  
取得1件、予算4件、人事2件、その他1件

- 報告6 令和5年度健全化判断比率及び資金不足比率に係る報告
- 報告7 紫波町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例及び紫波町包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する専決処分に係る報告【改正】介護保険法施行規則の一部改正に伴い、条例における字句の整理をしたもの
- 報告8 令和6年紫波町一般会計補正予算(第5号)の専決処分に係る報告について  
補正額 1751万円
- 認定1 令和5年度紫波町一般会計歳入歳出決算認定について 決算額(歳出) 151億2572万円
- 認定2 令和5年度紫波町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について 決算額(歳出) 31億3497万円
- 認定3 令和5年度紫波町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 決算額(歳出) 3億6471万円
- 認定4 令和5年度紫波町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について 決算額(歳出) 34億9355万円
- 認定5 令和5年度紫波町介護予防サービス計画事業特別会計歳入歳出決算認定について 決算額(歳出) 738万円
- 認定6 令和5年度紫波町下水道事業会計決算認定について 収益的収支 1214万円  
資本的収支 △6億254万円
- 議案45 紫波町公正な職務の執行の確保に関する条例【新設条例】職員のコンプライアンスの原則並びに町の機関及び町民等の責務を明らかにす

- るとともに、その他職員の行動規範について必要な事項を定めようとするもの
- 議案46 紫波町国民健康保険条例の一部を改正する条例【改正】被保険者証廃止に伴い、被保険者証の返還に応じない者に対する過料を廃止するもの。
- 議案47 紫波町水道水源保護条例の一部を改正する条例【改正】有害物質等の目標値について改定しようとするもの。
- 議案48 岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関し議決を求めることについて【改正】被保険者証廃止に伴う市町村事務の一部変更及び市町村負担金算定に係る基準日の変更について協議を行うもの。
- 議案49 令和6年紫波町一般会計補正予算(第4号) 補正額 7億7072万円
- 議案50 令和6年紫波町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 補正額 272万円
- 議案51 令和6年紫波町介護保険事業特別会計補正予算(第1号) 補正額 1億4488万円
- 議案52 紫波町赤石小学校校舎増築業務の請負契約の締結に関し議決を求めることについて 橘建設(株)・(株)トミオカ特定建設工事共同企業体 仮契約金額 7億387万円
- 議案53 財産(建物)の取得に関し議決を求めることについて 地域熱供給施設の取得 仮契約金額 4290万円
- 議案54 紫波町一般会計補正予算(第6号) 補正額 2101万円
- 議案55 人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めることについて
- 議案56 教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

# 11議員が

# 一般質問



**橋浦 栄一**

- 森林整備
- 給食費無償化



**阿部 美佳子**

- 平時における防災減災の取り組み



**佐藤 光夫**

- 埋蔵文化財の管理と現有施設の有効利用
- アーバンベア対策



**鈴木 博**

- 日詰駅と古館駅のトイレ閉鎖
- あらえびす記念館の活性化



**高橋 敬子**

- 農業問題
- 職員体制

## 町民一人一人の未来と暮らしのために！



たかはし けいこ  
**高橋 敬子** 議員



【議員の一般質問・答弁の動画はQRコードから】

### 農業問題

## 経営の安定を

### 答 支援体制を整備する

**問** 町が定める第三次紫波町総合計画では、「農業の担い手・安定的な就業の場が確保されている」とある。農業を巡る状況は厳しさを増しているが、農家所得の向上と個々の経営安定に向けた取り組み、生産者が安心して営農できる農業生産基盤について、町はどのような対策を行うか。

**町長** 資材の価格高騰や生産費の増大など、農業環境が非常に厳しいと認識している。農業所得の確保に関しては、国の交付金制度を活用しつつJAと連携し、需要に応じた高収益作物への誘導を図るなどしていきたい。新規就農者や認定農業者、兼業農家などさまざまな担い手が、それぞれの役割を持って地域農業に関わっていくことが重要と考える。支援体制を整備し



すずき ひろし  
**鈴木 博** 議員



【議員の一般質問・答弁の動画はQRコードから】

### 日詰駅と古館駅のトイレ閉鎖

## 緊急の課題である

### 答 速やかに協議を重ねていく

**問** 令和6年3月16日から日詰駅と古館駅の無人化に伴いトイレが閉鎖されている。駅利用者には利便性を無くし、駅敷地内外で排泄行為が行われてしまう現状は駅周辺住民の住環境面・衛生面を著しく損なっている。この状況を町はどう捉え、JR東日本とどのような話し合いが行われているか。また、JR東日本は車両内トイレ使用を呼びかけているが、町としてはどのように周知しているか。

**町長** 駅のトイレが閉鎖されたことによる利用者の不便と周辺の住環境・衛生面への影響は町でも深刻に捉えている。JR東日本では、駅のトイレ閉鎖後は電車内のトイレを使うように呼びかけており、町としては日詰駅および古館駅の駅舎内に、それぞれ赤石公民館や前郷公園



音声版はページ下のQRコードから



**根水康博**

- 人口減少対策
- 温泉保養公園他
- 行政組織運営
- 有害鳥獣対策他



**及川ひとみ**

- 暮らしの支援
- 民間提案制度



**佐々木純子**

- わが町紫波ならではの観光
- 高齢者支援



**藤原恵子**

- 地方公会計の活用
- 子ども政策支援



**細川恵一**

- 改正地方自治法
- 農政問題



**村上みさと**

- 公園や街路の管理整備
- 犯罪被害者等支援

一般質問とは：議員の視点から町の行政全般に対し質問し、政策的な議論をする場です。

9月定例会の傍聴者は延べ22人でした。お越しいただきありがとうございます。

職員体制

「このほかの質問」

**農業委員会会長**  
 農業者のリタイア、後継者の不在などで適切に利用されない農地の増加が懸念されており、農地を次世代へ引き継ぐことが重要と考える。農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止や解消などに取り組んでいる。農業委員と農地利用最適化推進委員が利用相談を受けたり、農地パトロールをするなどして現状を把握し、地域の担い手へ斡旋していく。また、新規就農者などには農地所有者との橋渡しをするなど、寄り添った支援をしながら農業生産基盤の整備に取り組んでいきたい。



しっかりパトロール

経営管理能力向上を推進していきたい。

野村胡堂・あらえびす記念館の活性化

「このほかの質問」



なんとかしてけろじゃー！

**問**  
 トイレが利用できる案内ポスターを掲示した。屋外で用を足すのは生理現象によってやむを得ない場合もある。プライバシーが確保されず人としての尊厳が損なわれる。誰もが安全で清潔なトイレを利用できる人権保護の観点で、同社に対して駅舎内トイレ利用の再開を交渉してはどうか。

**町長**  
 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」においては、生活環境の保全および公衆衛生の向上を図る事を目的として「市町村は必要と認める場所に公衆便所を設け、これを衛生的に維持管理しなければならない」と規定されている。JR東日本に現状を十分理解してもらい、スピード感を持って利用再開に向けた協議をしていく。



さとう みつお  
佐藤 光夫 議員



【議員の一般質問・答弁の  
動画はQRコードから】

アーバンベア対策

※アーバンベア  
市街地に出没するクマ

城山へ出現防止の対策は

【答】 東側斜面の刈払い・伐採をしていく

【問】 ツキノワグマの目撃情報が多発し、城山公園は閉鎖状態が続いていた。公園を通常利用しながらクマ対策を行う必要がある。専門家の調査のもと、今後の対策と計画は。

【町長】 令和5年に行った城山公園におけるクマに関する現地確認の結果、クマは東側から北上川を渡って来ていると考えられる。人身被害や農作物被害防止のため、冬から春に花火による追い払い、AI通信カメラを設置することで効果的な罠を設置し4頭捕獲した。

【問】 クマの餌や隠れ場所になる樹木の伐採が急務である。毎年継続的にできないか。

【町長】 昨年度、クマの目撃箇所周辺である北側斜面のスギを中心に伐採し、併せて餌となるクリなどを伐採している。今年は、当初計画に



あべ みかこ  
阿部 美佳子 議員



【議員の一般質問・答弁の  
動画はQRコードから】

防災・減災の取り組み

平時にこそ災害対策の検証・強化を

【答】 関係機関と連携し進める

【問】 事前の体制強化として、意思決定の場への女性参画を推進すべきではないか。

【町長】 現時点で災害対策本部会議の女性職員は1名だが、各災害対応部門にいる女性職員からの情報収集に努め、意見を生かす。地域防災計画を作成する防災会議の構成員には婦人消防協力隊連合会長、婦人団体連絡協議会会長を任命し、意見を反映している。

※災害対策本部会議 災害対応時の最高意思決定機関。構成員は町長、副町長、教育長、部課長。そのほか関係行政機関として、消防署長、警察署長、消防団長、交通指導隊長。

【問】 多様なニーズに配慮した避難所運営体制は整っているか。



はしうら えいいち  
橋浦 栄一 議員



【議員の一般質問・答弁の  
動画はQRコードから】

森林整備

森林資源の活用と再生は

【答】 整備を進めていく

【問】 平成15年頃から発生した松食い虫による赤松の被害木の伐採に多くの時間・労力をかけて対応してきたが、近年では温暖化の影響でツル系植物が山の多くの木を覆い、道路沿にも生い茂り、木々の生長をはじめ景観的にも安全性にも影響を及ぼしている。

【町長】 今後の森林整備について、2021環境・循環基本計画で示された行動方針であげられたが、現在の森林資源の活用及び森林再生の進捗状況と具体的な取組は。

【町長】 森林資源の多くが保育・間伐を必要とする育成段階にあることから、育成林における保育・間伐の積極的な推進を図っている。

また、健全な森林資源の維持造成を推進するため、林業関係者と連携を図りつつ森林経営計

より侵入経路と思われる東側の北上川沿いの刈り払いを進めてきたが、クマの出没が多発したことから東側斜面下の伐採を追加する。



入れないかあ 😞

## 埋蔵文化財 文化財の保存と公開は

**答** 保護の重要性と理解の促進に努める

**問** 埋蔵文化財は旧中央保育所で修復・保管されている。今後も増える埋蔵文化財の保存管理をどうするのか。また、一般公開はできないか。

**教育長** 町の中央部において宅地開発が増加傾向にあり新たな遺跡が発見されており、令和6年6月時点で352カ所になる。旧中央保育所を活用し施設全体の約6割にあたるスペースに収蔵している。また、文化財の一般公開は、中央公民館で常設展示を行っている。さらに、出土した埋蔵文化財の調査研究を進め、保護の重要性に関する理解の促進に努める。

**町長** 災害時に避難所運営マニュアルを基に運営することになっている。能登半島地震をはじめ被災地の例に対応するため、再度マニュアルの見直しを進め、避難所を開設する際には、関係機関と連携を図りながら運営を進めていく。

**町長** 地域防災の要としての自主防災組織のあり方についてどのように考えているか。現在、44団体の自主防災組織がある。大きな災害が発生した時は自主防災組織の力が必要であり、町としても活動支援を行い、組織が結成されていない地域の行政区長や公民館長に働きかけを行う。



平時にこそ考えよう!

**町長** 防災DXの推進にどう取り組んでいくのか。県で整備し、現在運用している「被災者台帳システム」は来年度更新予定。更新後は被災者情報の共有や早期の罹災証明書の発行や業務の省力化も期待されている。避難情報の発信や災害情報の収集は、町と関係機関が連携できるシステムの構築を進めていく。

※DX デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術を活用して変革すること。

画を策定し長期的な施業受委託等が普及・定着するよう努めている。

## 学校給食費の完全無償化

## 子どもは地域の宝 支え育てていくべき

**答** 制度の活用で対応する

**問** 全国の自治体から国による学校給食費の完全無償化の要望がある中で、岩手県内では既に11の市町村が、ふるさと納税を財源に充てる等面し、学校給食費の完全無償化を実現している。

町として、地域の宝である子どもたちを町民全員で支え育てていくべきと考えるが、学校給食費の完全無償化について町の考えを伺う。

**教育長** 給食費は学校給食法に基づき保護者の負担によるものと認識している。優先課題である給食センター建設などの施設整備が控えている事を踏まえ、現段階で学校給食費の無償化を実施する予定はない。なお、経済的な理由により困窮している世帯にあっては、就学援助制度の活用を促進し支援に努める。

※就学援助制度 経済的理由により小中学校への就学が困難な家庭に、子どもが安心して勉強できるよう、学用品費や給食費などを援助する制度。



むらかみ  
**村上 みさと** 議員



【議員の一般質問・答弁の  
動画はQRコードから】

公園・街路の管理

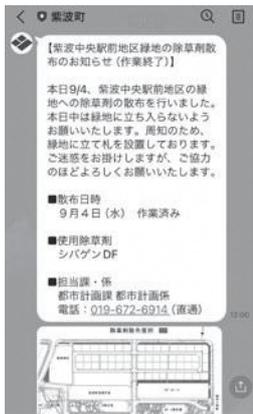
公園や街路の芝生に除草剤の考えは

**答** 街路の芝生に使用した時は周知する

**問** 公園や街路の芝生に除草剤が使用されているが、その使用と町民への周知、健康への影響の考えは。

**町長** 街路の芝生は、芝生用の除草剤を使用している。除草剤は一般に市販されており、土壌中で分解されるため影響はないと考えるが、散布後に看板を設置し周知を図っている。細心の注意を払い行う必要があると認識している。

児童公園などは管理を地元団体に委託しており、除草剤を提供している公園もある。



紫波町公式 LINEより



ほそかわ けいいち  
**細川 恵一** 議員



【議員の一般質問・答弁の  
動画はQRコードから】

改正地方自治法

適切な運用を

**答** 実情にあわせ運用する

**問** 改正地方自治法は、国民の安全に重大な影響を及ぼす事態が発生し、または発生する恐れがあると判断すれば、国は地方自治体に対し、法的義務を持つ補充的指示を発することができるとした。同法についての見解は。

**町長** 先の通常国会において、地方自治法の一部を改正する法律が制定され、国民の安全に重大な影響を及ぼす事態が発生した場合、一定の条件のもと、国が地方公共団体に対し、必要な指示をすることができるとなった。

私は大災害などが発生した場合に、広域的な支援が必要となる状況などを考えれば、改正の趣旨について、一定程度は理解できる。

一方で国の指示権の拡大が地方分権の流れに逆行し、国と地方公共団体の対等な関係に影響



ふじわら けいこ  
**藤原 恵子** 議員



【議員の一般質問・答弁の  
動画はQRコードから】

地方公会計

評価シートを活用した予算編成は

**答** 評価につながるよう取り組む

**問** 公会計改革において、経済性・効率性・有効性の3点が追求されるが、日本は諸外国に比べると公会計利用の目的が定まっていなと指摘がある。公会計の知見を生かした行政コスト計算書は、事業の成果にコスト・人員配置・活用資産など経費面だけではなく、建物の減価償却費も加味した正確な行政コストの把握が可能である。

先進自治体の取り組みとして、課別・事業別の評価シートを議会に提出し、審査資料として活用されている。町においても評価シートを作成し、次年度の予算編成に反映できる取り組みが必要と捉えるが、見解は。

**町長** 町では、公会計研修を毎年実施し、簿記の基礎、事業別・施設別セグメント分析によ

## 条例の制定を

### 【答】 先進事例も含めて検討

**問** 犯罪被害者などに適切で途切れることのない支援を行うため、犯罪被害者等支援条例の制定が必要であるが、考えは。

**町長** 県の条例には「犯罪被害者等支援は、県、市町村、民間支援団体その他の関係機関が相互に連携し、及び協力することにより行わなければならない。」と規定されている。現時点で町の条例を制定せず、県や関係機関との連携を図っていく。

**問** 警察は捜査として被害者に局所的にしか関わることができない。行政とつながることができないので、条例が望まれている。検討できないか。

**町長** 窓口設置も含めて考えていかなければならない。どのように対応するか先進事例も含めて検討していく。



ひとりで悩まないで！

を及ぼすとして、改正反対意見があることも承知している。

同法の改正は、地方公共団体の行政経営に影響を及ぼすものであり、法の理念に沿った運用がなされるよう留意していく。

**問** 同法では、指定地域共同活動団体制度が盛り込まれた。制度運用について町の考えは。

**町長** 国は、複雑化する地域課題に対応するため、市町村は地域の多様な主体との連携および協働を推進し、必要な支援を行うものとした。

町は、協働のまちづくりを推進して地域課題の解決に向け、地域運営組織の形成支援などに取り組んでいる。住民の話し合いの進展や組織化に向けた取り組み状況に合わせ、アンケートの実施支援や集落支援員の配置を行っている。

令和6年度は、総務省の地域活性化起業者制度を活用した「地域コミュニティ支援アドバイザー」を委嘱したほか、NPO法人への業務委託支援を図っている。

制度の活用に当たっては、条例で「特定地域共同活動」を定めるとともに、条例で定めた要件を備える「指定地域共同活動団体」を指定することとされた。今後、国から制度の詳細が示され次第、町の実情と照らし合わせながら、その導入を見極めていく。

### 「このほかの質問

農政問題

る事業構築など、評価につながるよう取り組み、職員の意識向上や知識の習得を図っている。

今後も国の方針などに沿ったものであるか評価し、事業改善に繋がる取り組みを行い、予算編成に生かされるよう努める。

### 子ども政策

## 子どもたちの命を大切に

### 【答】 地域全体で支えていく

**問** 子ども政策の加速化プランとして3年かけて実施するとあるが、少子化の時代、子どもたちの命を大切にしているかが問われている。「命の尊厳を守る」研修を毎年、計画的に実施し、「生命の尊厳の紫波町」を掲げ行動することが大切ではないかという声があることから町の考えを伺う。

**町長** 町では、「加速化プラン」に含まれる児童手当の拡充など、子育て世帯への支援を進めている。

その中において、「子どもの命や尊厳を大切にしていくこと」は、確実に実現していく必要があると認識しており、今後も子どもの成長を地域全体で支える社会の実現を目指していく。



さ さ き じゅんこ  
佐々木 純子 議員



【議員の一般質問・答弁の  
動画はQRコードから】

## 観光振興

### 紫波ならではの観光に

#### 【答】 魅力発信に努める

**問** 豊かな恵み、悠久の歴史にくらし輝くまち、紫波」を掲げ、次期計画策定に向けてさらに磨き上げを行い、観光振興していく必要がある。インバウンド需要に合わせ観光看板に外国語表記を加えてはどうか。

**町長** 紫波町近隣在住の外国人へのアンケートによると、SNSでの情報発信を望む声が多く、まずはインターネットを活用した情報発信を検討する。また、令和6年度の事業で外国語版観光パンフレットを作成中で、それらを有効活用しながら、外国人に対して町の観光資源の魅力伝えていきたい。

**問** デマンドバスについて、旅行者や町内利用者は満足しているか。



おいかわ  
及川 ひとみ 議員



【議員の一般質問・答弁の  
動画はQRコードから】

## 暮らしの支援

### 直接的な支援を

#### 【答】 現状を維持する

**問** 物価高騰はまだ続き、町民の暮らしは厳しい現状が続いている。生活の中で、国民健康保険や子ども医療費、学校給食費の補助など直接的な支援が必要と考えるが、「国民健康保険子ども均等割額」の軽減年齢を引き上げられないか。

**町長** 国民健康保険制度における子育て世帯の経済的負担軽減のため、令和4年度から未就学児の均等割額の5割軽減措置が開始されており、保険料は、国民健康保険制度の安定的な財政運営と医療給付にとって欠かすことのできない財源であり、均等割軽減措置については、現行どおりの運用を継続する考えである。



ねみず やすひろ  
根水 康博 議員



【議員の一般質問・答弁の  
動画はQRコードから】

## 人口減少対策

### 子育て支援の充実は

#### 【答】 子育て環境の充実に取り組む

**問** 子どもを安心して預けられる体制づくりや施設の整備など、子育て支援における保育士の人員、報酬の対応は十分か。

**町長** 子育て世帯の増加や拡大する保育ニーズに対応するため、民間事業者による保育施設の開所支援に努め、子どもを安心して預けることができる環境を整備している。

保育士の人員は、基準を満たす配置により、保育の質を確保している。報酬は、保育運営費に含まれる処遇改善加算が賃上げ改善に充てられている。

今後、保育需要に合わせた保育士の配置などについて、制度運用や周知を行い、町内保育施設の適正な子育て環境の充実に取り組んでいく。

**町長** 2次交通の代表的な手段である「しわまる号」の利用実績を見ると、通院や買い物などの日常利用が大半を占めており、観光目的での利用は多くない。一方で、外国人への調査では、不便を感じる事柄として「公共交通の分りにくさ」との声が多いことから、観光事業者などと連携し、改善策を検討していく。

**問** 家族連れに子どもの遊び場を提供し、町の魅力を堪能してもらおう考えは。

**町長** 子どもの遊び場に関する需要が多くあると認識している。現在検討を進めている温泉保養公園の再整備について、主なターゲットをファミリー層とし、遊び場に関する需要に応える方策を検討していく。

**問** 町の美味しい農産物は、訪れた人々を魅了している。特産品振興は具体的な対策を考えているか。

**町長** 酒のまち紫波を推進し、お酒のブランド化を図ると共に、農業をはじめとする関連産業の振興に繋げていく。またその他にも多くある町の特産品について、ふるさと納税制度も積極的に活用するとともに、イベント支援など関連団体と連携し、認知度向上と販路拡大に努める。

このほかの質問

高齢者支援



魅力ある町の農産物

民間提案制度

町民の要望に合っているか

**答** 課題解決に資する事業を採択

**問** 町には、民間事業者から提案を受ける「民間提案制度」がある。町民からは、広報などに記事が載るが分かりにくいとの声を聞く。視察に行った大阪府大東市では、民間提案制度ガイドラインがあり、公民連携リストの公表などもある。

**町長** 町でもリストの公開なども含め町民への情報提供ができないか。また、民間提案は、町民の要望や考えと一致するものと捉えているか。

**町長** 町の民間提案制度は、基本的に町の財政負担を伴わない提案を募集している。その上で、民間のノウハウと資金により、行政課題はもとより、地域社会における課題解決に資すると評価された事業を採択している。

場所や事業を特定せず、事業の募集を行っていることから、現時点においてリストは作成できかねる。

町民ニーズに合致し、暮らしやなりわいに直接効果をもたらす事業が実施される際は、PRに努めていく。

地産地消・食育

プロジェクトの成果は

**答** 計画に沿って進めている

**問** 第二次紫波町食育・地産地消推進計画に掲げる八つの実践実証プロジェクトが、多様な分野における町民などの主体的な活動として着実に進展するよう取り組むとしているが、これまでの取組状況とその成果は。また推進計画に沿って進められているか。

**町長** これまでの活動として、連携の輪を広げることを目的としたワークショップの開催、食育・地産地消実践者と児童施設などのマッチングによる農業体験や調理体験、補助金制度を活用した事業などを展開している。

食を通じて農業と消費者を結びつける活動は、食に関する知識、食を選択する力、健全な食生活の実践など、食への関心を高める意識の向上に寄与していると捉えている。本年度事業においてアンケートの実施を予定しており、今後の事業展開に生かしていく。

このほかの質問

温泉保養公園／行政組織運営／まち・ひと・しごと創生／有害鳥獣対策／地域留学／公益塾／しわまる号／ねりんピック／特別職の職員給与



# 議会モニター意見交換会

令和6年8月20日に新たな議会モニターの皆さんと意見交換会を開催し、参加された3人から貴重なご意見をいただきました。

議長より「緊張感を持って議会に取り組み、町民の方と共に議会力を高めたい」と挨拶があり、意見交換を行いました。



## 議会運営について

- ・議場がフラットで奥の議員が見えない。
- ・声が聞き取れない発言者がいる
- ・一般質問のアーカイブだけでなく他の会議も



阿部さん

- ・今の議場は好き
- ・メリハリのある会議を



高橋さん

- ・平らな議場は良いと思う



小笠原さん

### 議員

- ・広角カメラで全体を映せるか検討する
- ・議場はバリアフリーも意識した設計になっている
- ・発言するときはハッキリと話すように心がける

## 議会だよりについて

### 議員

- 編集のポイントとして
- ・分かりやすく
- ・町民がたくさん登場するように
- ・議論が交わされたことを伝える

- ・多くの町民が載っている表紙が良い
- ・分かりやすく親切になった
- ・町の動きが知りたい



高橋さん

- ・町への指摘や提言を追い続けて欲しい
- ・一般質問が見やすく読みやすくなった



小笠原さん

### 議員

- 一般質問通告と答弁だけにした

- 再質問でも良い質問があったけど



小笠原さん

### 議員

- 紙面が限られているので全部掲載できない。お手数ですが、QRコードを読み込み音声データを聞いてほしい

- 聞かせてまちの声の取材はどのようにしているのか。



阿部さん

### 議員

- 広報担当の議員が出向いて取材をしている

## 意見交換会を終えて

今回もモニターの皆様からのご意見がとても参考になり、早速議会だよりに生かしております。これからも分かりやすい議会だより作成と真摯な議会活動に努めて参ります。

広報広聴常任委員会 委員長 鈴木 博

## 出席者の紹介

### 議会モニター



あべしげお  
阿部重雄さん  
(彦部地区)



おがさわらえつこ  
小笠原悦子さん  
(古館地区)



たかはしよしみ  
高橋吉見さん  
(赤石地区)

### 議会議員

広報広聴  
常任委員会

議長	武田平八
委員長	鈴木博
副委員長	佐々木純子
委員	吉田和希
委員	村上みさと
委員	佐藤光夫
委員	橋浦栄一
委員	及川ひとみ



## 令和6年度 紫波町議会報告会

## 「町民と議会の意見交換会」開催のお知らせ

**開催趣旨**－議会活動や行政課題に対する取り組みの状況など、議会の説明責任を果たすとともに、町民の皆さんの意見や提言などを取りまとめ、町の発展と議会の活性化を図る。

**主催**－自治公民館、紫波町議会

▼ 次の日程・会場で開催します。

※開催時間は約1時間30分

開催日	1班	2班	3班	4班
10月28日(月)	赤石(桜町北通、桜町南通) 桜町北通公民館 午後6:30～	赤石 高木公民館 午後6:30～	長岡 横沢公民館 午後7:00～	長岡 常川公民館 午後6:30～
11月1日(金)	赤石 蔭沼公民館 午後6:30～	古館 十日市公民館 午後6:30～	古館 桜田公民館 午後6:30～	日詰 6区公民館 鈴の音 午後6:30～
11月2日(土)	赤石 京田公民館 午前10:00～	佐比内 8区公民館 午前10:00～	情報交流館 大スタジオ 午前10:00～	日詰 あさひコミュニティ会館 午前10:00～
11月5日(火)	彦部 大巻公民館 午後6:30～	古館 中陣公民館 午後6:30～	古館 上町公民館 午後6:30～	
出席議員	細川 恵一 吉田 和希 橋浦 栄一 高橋 敬子	藤原 恵子 村上みさと 北條 聡 阿部美佳子	及川ひとみ 鈴木 博 浅沼 有朋 熊谷 育子	細川 久 佐藤 光夫 阿部 秀一 佐々木純子

▼ 当日は10月23日発行の **議会だより しわ No.211(本号)** を持参願います ▼

## 【 報告会の内容 】

- ・町の令和5年度決算状況、各委員会からの報告
- ・町政、議会運営に関する意見・要望・提言

どなたでも参加できますので、お誘い合わせの上おいでください。

【問合せ先】紫波町議会事務局 電話 019-672-6866(直)

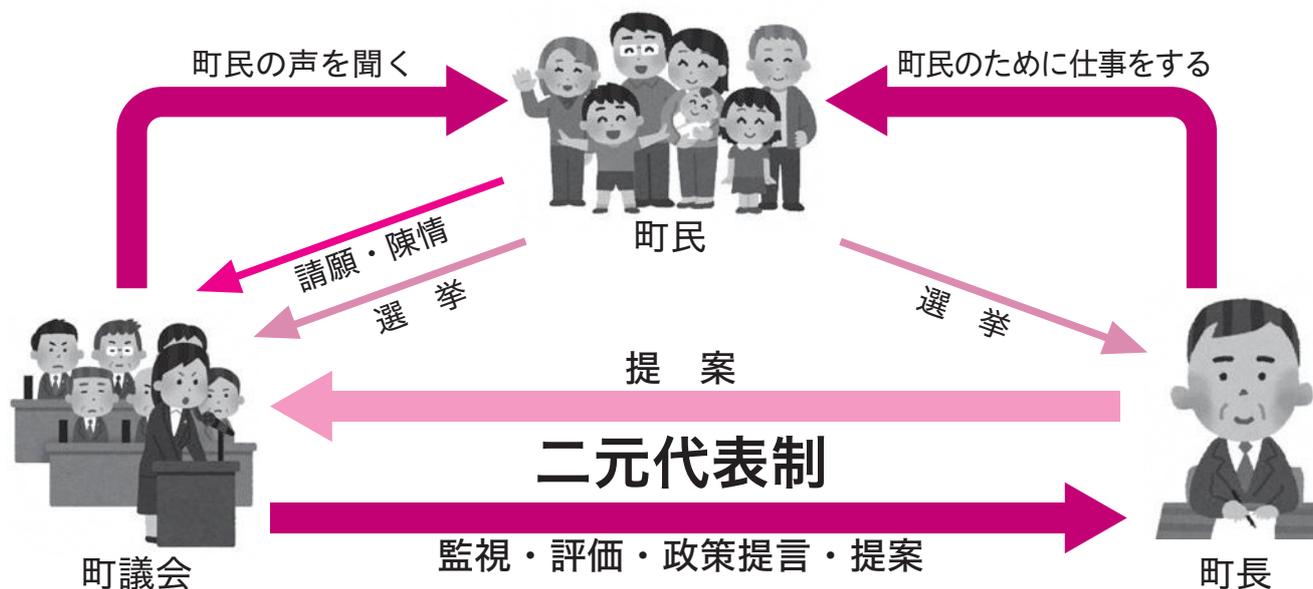


## シリーズ「議会の見える化」vol.2

議会ってなあに？

## 地方議会は二元代表制

～町議会と町長はどちらも選挙で選ばれた対等の立場です～



町議会は、町長から提案された条例や予算の審査を行い、決定します。

また、お金の使われ方をチェックし、町民の意見を反映させます。

町長には「執行権」、議会には「議決権」があり、それぞれの権限に基づいて、

**住民の福祉向上、紫波町が掲げる暮らし心地のよい町**という

**同じ目的**のために役割を果たしています。



## 議会の活動を紹介します

6月		7月		8月	
議会運営委員会	2回	議会運営委員会	2回	議会運営委員会	1回
議会全員協議会	1回	議会全員協議会	1回	予算決算常任委員会	1回
予算決算常任委員会	2回	議会本会議	1回	町づくり常任委員会	1回
IT推進検討委員会	1回	町づくり常任委員会	3回	広聴広報常任委員会	1回
町づくり常任委員会	6回	広聴広報常任委員会	1回	議員研修会	2回
広聴広報常任委員会	5回	議員研修会	1回		
議会本会議	5回	紫波郡町議会議長会	1回		

式典等の公的行事、他機関会議への出席を除く。





議員が依頼に伺った際は  
ご協力をお願いします。

# 聞かせて まちの声

町内の方々に寄稿していただきました

## 自然豊かで、明るい町に



しみず あきこ  
清水 明子さん  
(土館地区)

私には2人の大きな子どもがいます。私たちが住む紫波町は、各地域で多くのイベントが開催される賑やかな町です。町の中でも特に素敵な場所として「ビューガーデン」があり、そこからの紫波町の景色はとても美しく、よくドライブしに行きます。

また、紫波町には美味しいお店も多く、特にオムライスが美味しいお店があり、よく友達と一緒に訪れます。冬になると、私の好きなメンチカツを買いに日詰の商店街へ出かけるのが楽しみです。

紫波町は自然豊かで、まちづくりがうまく進んでいる素晴らしい町だと感じています。



自然豊かな紫波町(東根山より)

## 健康増進のため 余暇利用を



うえの かずふみ  
上野 和文さん  
(赤石地区)

春の山菜、秋のキノコ採りも、クマの出現でやめている町民の方々もおられると思います。余暇を利用した散歩と、小さな鉢を利用した樹木を育てる盆栽の時間をもちませんか。

庭造りは維持費が少々かかりますが、ひとりでする盆栽に費用はあまりありません。

実りの秋、素晴らしい季節の到来です。町民の安全確保のために紫波町で実施しているクマ情報は必要です。継続して欲しいです。



盆栽は楽しい!

## 農業と神楽



うめざわ なおや  
梅澤 直哉さん  
(赤沢地区)

赤沢で、ブドウと米を作りながら農業関係の仕事をしています。今年のブドウは、夏の長雨もあって収穫量がいつもより半分以下になってしまいました。毎年の気候変動に悩まされています。とはいえ米の値段が例年より大幅に上がっているようで、このまま続いて米農家の意欲が上がると良いですね。

私は赤沢神楽保存会の一員として、町内外のお祭り等に神楽を奉納しています。若いメンバーも増えてきました。

土地を守り、文化を継承していけたら良いと思います。



今年もできました。おいしいブドウ



# シリーズ みみよりの話 No.46 山村に賑わいをもとめて



今年も86体の案山子が展示されました。壮大です。組合員の渾身の作品、世相がよく見えます。

平成16年、当時の組合役員たちは、周りの産直より遅れて設立した佐比内産直販売店の誘客作戦に頭を擦り合わせるように協議を重ねたことだろう。

たどり着いた作戦が「案山子コンクール」でした。当時の先輩たちの話では、組合員から案山子作成の理解を得ることが難しく、お客様に見せる案山子とはどんなものか、試行錯誤を重ねました。

年々個体数も増え評判を得た「案山子まつり」は、組合員の力となり、地域の自慢となりました。地域の特産物「ぶどう」の出荷と重なり、産直店舗は、

先輩組合員が描いた様相となりました。

しかし、祭りでは賑わう紫波ふるさとセンターの課題は、組合員の高齢化に伴う後継者不足です。密接に関係する地域農業においては、若い人の農業離れが進んでいます。現在の農業における経済的不安定、地域の過疎化など、将来の展望が見えないことが原因とされます。

産直による経済効果、賑わいによる活性化、そして、地域の中心施設として、若い人が夢を持てる店舗として「案山子まつり」が農山村佐比内に活性化をもたらします。

紫波ふるさとセンター  
組合長 山下 研悦

## 表紙の写真



最後の運行 たくさんの人が集まりました

地域のつながり永久に

9月14日、最後の山車の運行となった堤島神社例大祭を取材しました。  
山車の正面は野村胡堂の小説「銭形平次捕物控」です。例年の倍の人数が集まり、躍動感あふれる山車運行を大巻地区の皆さんが盛り上げました。  
子どもたちのかけ声、太鼓や笛の音に地域の方々が続々と表に。「昔は人も多く、連日運行した。最後というのはさみしいけれど、やっぱり山車はいいですね」と、その姿を見届けました。  
田園風景の中を山車が運行し、沿道から地域の方々が声援を送る姿に、山車の運行は終わっても地域のつながりは永久に続くと感じました。(村上)

## ペンをおいて

広報広聴常任委員会で  
は日常のささいな出来事に目を向け、新しい発見や成長の機会を得る「気づき」を大切にしています。普段見逃しがちな日常の小さな変化にも注目し、そこから学ぶ姿勢を忘れずに編集に取り組んでいます。

議員一人一人が互いに理解し合い、協力し合うことで、個々の強みを生かし、住民の皆さんにとって町政が身近に感じられる「分かりやすい」「読みやすい」議会だよりを目指しています。  
今回、新しい取り組みとして決算状況を家計に当てはめてみました。今後皆様様に親しまれる紙面作りを心掛けてまいりますので、どうぞご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

橋浦 栄一

### 発行・編集責任者

議長 武田 平八

### 広報広聴常任委員会

委員長 鈴木 博

副委員長 佐々木純子

委員 吉田 和希

村上みさと

佐藤 光夫

橋浦 栄一

及川ひとみ



議会からのお願い 議会だよりの取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

